

卵巣上皮性悪性腫瘍・卵管癌・腹膜癌に対する niraparib の有効性に関する後向き観察研究

1. 研究の対象

対象となる患者さん：当院で 2017 年 1 月から 2024 年 12 月までの間に、卵巣上皮性悪性腫瘍・卵管癌・腹膜癌 STAGE III～IV 期に対して初回化学療法の維持治療として niraparib を使用した患者さん。比較を行うための対象となる患者さん：当院で 2017 年 1 月から 2024 年 12 月までの間に、卵巣上皮性悪性腫瘍・卵管癌・腹膜癌 STAGE III～IV 期に対して維持治療として bevacizumab、Olaparib あるいはその両方を使用した患者さん。

2. 研究目的・方法

進行卵巣がんの一次治療として、どのような患者さんにどれくらい niraparib が有効であるかを検証することが研究の目的です。

研究の対象となる患者さんの情報を集積することを想定しています。年齢・BMI・合併症背景・化学療法情報（方法・効果・副作用）・腫瘍情報（Stage・組織型など）・経過を診療録より収集します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、手術関連因子、病理組織結果、副作用などの発生状況、生存や再発の有無、カルテ番号 等

利用又は提供を開始する予定日：所属機関の長の研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

4. 実施機関および研究責任者

大阪国際がんセンター 北井美穂

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター婦人科

研究責任者：北井美穂

大阪市中央区大手前3丁目1番69号

06-6945-1181